

特集 議会×須恵町スポーツ協会 座談会

スポーツ振興

スポーツ協会の声を聴きました

心身の健康だけでなく、暮らしを豊かにするスポーツ。
須恵町スポーツ協会は、体育・スポーツを振興し、町民の体力向上とスポーツ精神を養い、相互の融和を図るなど、須恵町のスポーツの発展に寄与しています。



令和4年8月1日対談



松山 力弥 議長 田ノ上 真 議員
今村 桂子 議員 三角 栄重 議員 稲永 辰己 議員

体の健康・心の健康・活力ある人生を

人前で話すのが苦手でしたが、役員になって少しは話せるようになりました。練習後の飲みにケーションが楽しいですよ。

副会長 合屋 悟 さん (ソフトボール)



小学校から剣道に50年間携わっていますが、後輩が先輩を立ててくれる。「礼」「上下関係」が武道の良いところだと思いますね。

会長 蔦末 和久 さん (剣道)



14年間事務局として関わらせていただきました。いろいろな競技を体験し、スポーツの奥深さを感じました。

副会長 米倉 清美 さん (バドミントン)



理事長を3年間しました。大変でしたが、良い勉強になりました。他の団体の人たちとも交流ができて楽しかったです。

副会長 山口 明光 さん (弓道)



歴史は？

■ 発足までの経過を教えてください
スポーツ協会
昭和43年9月頃より、町体育指導委員が中心となり、体育協会設立の気運が高まりました。規約などを審議し準備を進め、各団体への協力依頼や全町民へ広報でのPRをしました。

■ 設立はいつですか
スポーツ協会
6団体（陸上部、剣道部、バレーボール部、卓球部、柔道部、バドミントン部）からの加盟申請があり、昭和46年3月14日に発会式を行い、須恵町体育協会が設立されました。初代の会長は、原田昇町長（当時）にお願いしました。

■ 昨年（令和3年）は、50周年でしたね
スポーツ協会
老朽化していた岳城・若杉山の道標24本を、50周年記念事業で新調しました。下見から添え木の撤去にいたるまで何度も山頂まで登り確認し、道具を運び、穴を掘り、セメントをこねて流し込み、みんなの手で支え仕上げをする。須恵町スポーツ協会のチームワークは最高です。



岳城・若杉山・道標設置 50周年記念事業

活動の目的・内容は？

■ 活動の目的は何ですか
スポーツ協会
● スポーツ技術の向上
● 町民にスポーツの良さ、楽しさを伝える
● 子どもたちに、いろいろなスポーツがある事を知ってもらう
● 好きなスポーツを楽しむなどの目的を持って活動しています。

■ どのような活動をしていますか
スポーツ協会
各競技の町民大会の実施、その他にみんなで清掃活動をしています。春は須恵川、冬は各会場の清掃をしています。毎年の須恵川の美化作業が評価され、県から「河川功労者」の表彰をされました。

スポーツ協会
2か月に1回行事の間に理事会をし、1年に1回理事研修会をしています。

組織体制は？

■ 組織の体制はどうなっていますか
スポーツ協会
令和2年に体育協会からスポーツ協会に名称が変更されました。現在は、18の団体が加盟し、子どもから成人まで1382人がスポーツを楽しんでいます。
スポーツ協会
各団体より理事を選出いただき、総務委員会・広報委員会・体力づくり委員会のいずれかに入り運営していただいています。

課題は？

■ 活動するにあたり、悩みや課題はありますか
スポーツ協会
コロナ前は1557人だった会員が、現在1382人に減ってしまいました。拳法道部が脱退し、ソフトボール連盟も20チームから3チームへ激減しました。会員をどのように増やしたらいいかが課題です。
スポーツ協会
コロナ禍での活動が悩みです。今後楽しんでいただける企画ができれば良いなと思っています。

趣味や健康のために運動を

スポーツは、体力向上や生活習慣病予防などの身体的効果だけでなく、他者との関わりにより連帯感や楽しさ・喜びをもたらし、心身両面にわたる健康の保持増進に効果があります。活力ある健全な社会形成の一助となるスポーツ。今後も、スポーツ協会が果たす役割に期待いたします。

※対談中は、撮影時のみマスクを外してもらいました。